７．歯学部

（　分析項目Ⅰ　教育活動の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17　）

（　分析項目Ⅱ　教育成果の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17　）

分析項目Ⅰ　教育活動の状況

〔判定〕　相応の質にある

〔判断理由〕

教育活動の基本的な質を実現している。

〔特色ある点〕

○　平成 21 年から医学、歯学、薬学部１年生合同による IPE ワークショップを実施している。また、７年前からは学生の一部有志を募って高学年の IPE の実施を試行していたが、平成 31 年度から３学部の「学部連携 PBL-チュートリアル」が始まったことに合わせ、正規のカリキュラムに導入、高学年における多職種連携教育（IPE）を充実させた。

○　高大接続の実現の一環として、平成 31 年度より高等学校の生徒を Junior-Student Lab に受入れ、教員の指導の下、研究を体験できる場を提供している。

分析項目Ⅱ　教育成果の状況

〔判定〕　相応の質にある

〔判断理由〕

現況分析単位の目的に沿った基本的な教育成果が認められる。

〔特色ある点〕

○　歯科衛生士国家試験の合格率は口腔保健学科が設立されて以来ほぼ 100％を維持し、また社会福祉士国家試験の合格率もこの５年間全国２位以内を維持しており、その高い教育水準は全国的に評価されている。